

6 若手職員に限定せず「本人手上げ式」でDX推進員を広く募集・任命【福井県あわら市】



- DXに関する施策の総合的な推進及び調整を担う「あわら市DX推進本部」を設置
- DXを進める核となる、DX推進員の募集は「本人手上げ式」を採用
- 職員のDXに対する意識が向上し、新たな取組の試行等の積極的な行動が増えている。
- DX推進員同士が交流し、互いに学びや気づきを促し合うことができている。
- 勉強会等の機会を通じて、異なる部署間の職員が交流し、庁内の連携が図りやすくなった。

事業の概要

- 「あわら市DX推進本部」のもと、政策広報課DX・情報発信戦略室がDX推進に係る企画及び調整、DX推進基本計画の策定等を行うとともに、**意欲のある職員の本人手上げ式によるDX推進員**や関係各課とも連携しながら、各部局が所管する取り組みや**部局を超えた横断的な取り組みを推進**。
- 市内各種団体などへのヒアリングを通して、地域課題の本質を捉えるとともに、県やふくい産業支援センター、教育機関、民間企業との連携を図り地域課題の解決に繋げる。

DX推進本部

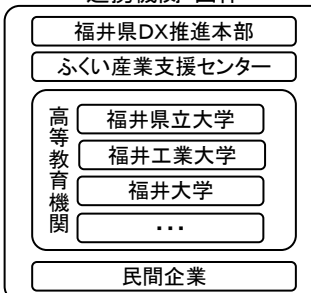
市長を本部長とするDX推進本部を設置し、全庁体制で推進する

本部長 : 市長
副本部長 : 副市長、教育長
本部員 : 各部局長
事務局 : 政策広報課DX・情報発信戦略室
DX推進員 : DX推進事業を部局横断的に実施すること、またDXを進める核となる職員をDX推進員に任命し、人材育成事業の実施、担当事業内容の検討・協議を行う。

DX推進体制

・まちづくり団体
 ・子育て世代
 ・高齢者
 ・若い世代
 ・小規模事業者
 ・農業関係団体
 ・観光事業者 など

連携機関・団体



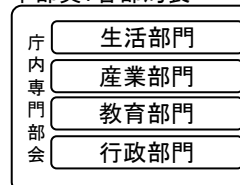
課題・ニーズ
の拾い上げ

✕
連携・協力

あわら市DX推進本部

DXに関する施策の総合的な推進及び調整

本部長: 市長
副本部長: 副市長、教育長
本部員: 各部局長



×
DX・情報発信戦略室

6 若手職員に限定せず「本人手上げ式」でDX推進員を広く募集・任命【福井県あわら市】



(総務省)

近況や工夫している点を教えてください。

令和5年度の実施としては、4月と9月にDX推進員の募集を行い、継続・新規で手を挙げてくれた合計21名の職員をDX推進員として任命しました。令和4年度は月1回の勉強会でしたが、令和5年度は月2回、**年間24回**、地域活性化起業人と市職員が交互に講師となり、勉強会を実施してきました。

勉強会の内容としては、ChatGPTやAI-OCRといったデジタルに関する内容だけでなくロジカルシンキングやプレゼン研修なども実施しました。**DX推進員一人ひとりが自分自身の目標についてプレゼンするなど、講師として登壇する機会を設け、「変化の起点となる職員」を育成すること**を目的に事業を進めています。

地域活性化起業人制度（総務省）を活用しDX推進に関するアドバイスだけでなく、DX推進員向け研修の実施等、市の状況に寄り添った**伴走支援**をいただいています。

本取り組みも、職員の「やりたい」「やってみたい」を引き出すべく、本人による手上げ式とすることを含め**制度設計から地域活性化起業人が一緒に取り組んでいただいています。民間人材に入っていることで、全職員一丸となって推進する庁内風土の醸成が加速度的に進んできているように感じています。**



(あわら市)



勉強会や打合せは、勤務時間外に実施していますか？その他、通常業務との兼ね合いなどどうしていますか？

業務時間内での実施です。勉強会は、学び続けるという手段の一つ(さらに先には業務改善、市民サービスの向上)にすぎないと考えています。学び続けるという行動が、習慣化し、課題解決思考が当たり前になり、市職員の文化になると理想です。また**メンバーと約束を交わしており、自分の業務を第一優先で、影響のない範囲で参加するよう呼びかけています。**



今後の展望を教えてください。

これまでは、地域活性化起業人や政策広報課職員が講師として登壇してきましたが、DX推進員が講師となる機会を増やすことで、**DX推進員が「変化の起点となる職員」として、市役所全体で「学び続ける組織作り」を目指していきます。**



【参考情報】 あわら市人口：2.7万人（令和5年1月1日現在）

関連URL：あわら市ホームページ（<https://www.city.awara.lg.jp/index.html>）

【担当部署】 あわら市創造戦略部政策広報課DX・情報発信戦略室（電話：0776-73-8005、メール：jyouho@city.awara.lg.jp）